

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



【双葉小学校】

<第4学年：ともに生きる>

児童は、地域や学校の中で高齢者や体の不自由な人にやさしい場所や施設に関する調査活動を行った。

まず、高齢者や体の不自由な人の困りごとを実感するために、高齢者疑似体験や、点字や手話、車椅子やガイドヘルプ等の福祉体験学習を行った。これらの活動を通して、児童は高齢者や体が不自由な方々が安心して暮らすことができるようにするためにはどうすればよいのかを話し合った。インターネット等を活用して調査活動や調べ学習を進めていった。

さらに高齢者施設を訪問することで、児童は高齢者や体が不自由な方々の思いや願いと、その暮らしを支援する取組や方法を理解することができた。体験活動や調べ学習から得た気づきや考えを大切にして学習を進めていくことで、誰もが安心して暮らすことのできる地域社会を目指したいと考えた。そして、自分に何かできることはないかと考え、行動しようとする実践意欲を高めることができた。



<第5学年：双葉っ子 防災知っとき隊>

児童は、自然災害から身を守るために自分たちができる防災について調査活動を行った。地震が起きた時の避難方法や防災バッグ、災害が起きた時の学校の対策などを調べたり取材したりした。そして、動画や新聞、ポスターなどに調べたことをまとめ、全校に発信をすることで全校児童の防災意識を高めることができた。また、防災についての活動を行っていく中で、実際に非常食を食べてみたいという声が上がリ、児童たち主催で非常食の試食会を行った。限られた食料がみんなにいきわたるように1人分の量を相談したり、スプーンやお皿の代用について考えたりした。実践したことをもとに、自分の家族、地域を災害から守るためのよりよい方法について自分の考えをまとめ、災害に対しての備え、災害が起きた時に自分たちにできることを考え、行動しようとする実践意欲を高めることができた。

